

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
1	新型コロナウイルス感染症にかかる人権啓発活性化事業	2.雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援等（市民の暮らしの支援）	新型コロナウイルス感染症にかかる差別、偏見が見受けられる中、小・中・高校生がコロナ感染症に対する人権標語を考案し、（優秀作品には図書カード贈呈）標語を貼付した除菌ウエットティッシュ、クリアファイルを配布することで市民等に対し人権啓発を行うとともに感染防止を図る。また、啓発用ポスター、リーフレットを作成することで、人権啓発を行う。	R3.4.1 ～ R4.2.21	2,334,850	2,334,850	小・中・高校生から募集したコロナ感染症に対する人権標語から選ばれた優秀作品5点（優秀作品には図書カード贈呈）を貼付した除菌ウエットティッシュ、クリアファイルを配布し、人権啓発を行うとともに感染防止を図った。また、啓発用ポスター、リーフレットを作成・掲示・配布することで、人権啓発を行った。 ・図書カード 2,000円×5人分＝10,000円 ・ウエットティッシュ 44円×38,000個＝1,672,000円 ・クリアホルダー 64.9円×2,000枚＝129,800円 ・ポスター(300部)リーフレット(10,000部)作成委託 523,050円	小・中・高校生が、人権標語を作成することでコロナ差別について考え、また、それを貼付したウエットティッシュやクリアホルダーを受け取った方が、その標語から人権について考えることができる機会となった。ウエットティッシュは全戸配布し、衛生面でも活用された。 ポスター・リーフレットは地元の偉人であるジョン万次郎の諦めない心である「ジョン万スピリッツ」を掲載し、コロナについて決して諦めない市民意識の醸成と人権意識の高揚が図られるよう取組を行った。	じんけん課
2	特別養護老人ホームしおさい特別会計繰出	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	特別養護老人ホーム内での施設内感染を防止するため、感染対策物品を購入する。	R3.4.1 ～ R4.3.31	1,100,000	1,100,000	■繰出金（消耗品購入相当分） ・消毒液等 616個 137,192円 ・使い捨て手袋（100枚入） 1,539箱 535,484円 ・使い捨て手袋（200枚入） 189箱 361,977円 ・ハンドソープ原液 25個 35,583円 ・ペーパータオル 1,008個 72,072円 合計1,142,308円のうち、1,100,000円	介護老人福祉施設内での適切な感染症対策のための必要物品が、品不足や単価高騰の影響により、経営を圧迫する状況であったが、本交付金を活用することで経営の安定化及び確実な感染症対策整備を図ることができた。	特別養護老人ホームしおさい
3	介護人材等定着支援事業	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した求職者の就労機会の確保及び、感染者が発生した際の業務量増大に対応できる人材の確保として、市内の医療・介護・福祉事業所への就職者に対し定着支援金を交付する。	R3.7.1 ～ R4.3.31	6,900,000	6,900,000	新たに市内医療機関及び居宅介護支援事業所で正規職員として就労する看護師等（30万円）・ケアマネジャー（50万円）・介護職員（10万円）に就労支援金を交付した。 【実績】 ケアマネ 500,000円×1人＝500,000円 看護師 300,000円×18人＝5,400,000円 介護職員 100,000円×10人＝1,000,000円	新型コロナウイルス感染症拡大により一層難しくなっている介護事業所等の人材確保につながったが、市内の介護事業所等の人材不足は依然解消するまでには至っていない状況である。今後も人材確保に向けた取組を継続して行う必要がある。	健康推進課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課																																				
					実績額	交付金充当額																																							
4	「高齢者集いの場」応援事業	2.雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援等（市民の暮らしの支援）	地域での介護予防を目的とした高齢者サロンにおいて、感染予防の観点から従来のボランティアによる食事提供を中止し市販弁当の購入に切り替えたため、参加者の食事代について補助を実施。参加者が安心して参加できる仕組みづくりと、弁当を発注することで市内業者・飲食店の地域経済の活性化を図る。	R3.4.1 ～ R4.3.31	2,706,578	2,379,153	<p>補助対象団体：土佐清水市社会福祉協議会 補助対象経費：いきいきサロンでの食事を弁当等の配布とした場合、その購入に要する経費について参加者1人につき500円を上限とし、月1回を限度とする ○弁当配布について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各月実績</th> <th>補助実施地区数</th> <th>補助実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(4月)</td><td>29地区</td><td>446名</td></tr> <tr><td>(5月)</td><td>38地区</td><td>634名</td></tr> <tr><td>(6月)</td><td>30地区</td><td>450名</td></tr> <tr><td>(7月)</td><td>39地区</td><td>604名</td></tr> <tr><td>(8月)</td><td>13地区</td><td>172名</td></tr> <tr><td>(9月)</td><td>26地区</td><td>415名</td></tr> <tr><td>(10月)</td><td>36地区</td><td>551名</td></tr> <tr><td>(11月)</td><td>41地区</td><td>653名</td></tr> <tr><td>(12月)</td><td>32地区</td><td>511名</td></tr> <tr><td>(1月)</td><td>23地区</td><td>346名</td></tr> <tr><td>(3月)</td><td>37地区</td><td>655名</td></tr> </tbody> </table> <p>延べ利用者数5,437名、年度内に49地区が活用</p>	各月実績	補助実施地区数	補助実施者数	(4月)	29地区	446名	(5月)	38地区	634名	(6月)	30地区	450名	(7月)	39地区	604名	(8月)	13地区	172名	(9月)	26地区	415名	(10月)	36地区	551名	(11月)	41地区	653名	(12月)	32地区	511名	(1月)	23地区	346名	(3月)	37地区	655名	<p>本事業の実施により、サロン1回あたりの参加人数の増加につながり、サロン開催頻度の増加（旭町：週2回から週3回、緑ヶ丘：週1回から週2回開催）があり、新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少した高齢者にとって貴重なコミュニティ活動の確保と、介護予防活動の継続支援につながった。 サロンへの参加者は、延7,164人で昨年度から1,277人増となった。弁当発注により市内業者・飲食店の事業継続にも寄与した。</p>	健康推進課
各月実績	補助実施地区数	補助実施者数																																											
(4月)	29地区	446名																																											
(5月)	38地区	634名																																											
(6月)	30地区	450名																																											
(7月)	39地区	604名																																											
(8月)	13地区	172名																																											
(9月)	26地区	415名																																											
(10月)	36地区	551名																																											
(11月)	41地区	653名																																											
(12月)	32地区	511名																																											
(1月)	23地区	346名																																											
(3月)	37地区	655名																																											
5	インフルエンザ予防接種事業	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザ予防接種の接種率の向上を図り、インフルエンザの集団感染や症状の重症化を防ぐことを目的として、市民が医療機関で接種したインフルエンザ予防接種費用に対する助成を実施する。	R3.10.1 ～ R4.1.27	1,008,957	1,008,957	<p>集団感染や重症化となりやすい市内の妊婦及び生後6か月から小学2年生までを対象に、インフルエンザ予防接種費用を助成した。 【接種機関】令和3年10月1日～令和3年12月31日 【接種回数】・生後6か月以上13歳未満の者は2回接種 ・13歳以上の者は原則1回接種 【助成実績】・妊婦 7件 ・生後6か月から小学2年生まで 511件(280人)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの症状は酷似しているため、同時期に流行した場合、発症者の見分けがつかず医療現場が混乱することが懸念されていた。本事業の実施によって、昨年度に引き続き、市内でのインフルエンザの集団感染、重症化の予防と、医療現場の混乱回避につながった。</p>	健康推進課																																				
6	公園等環境整備事業	4.社会的な環境の整備	公園等の屋外は、フィジカルディスタンスが確保でき、コロナ禍において心身機能の維持につながる貴重な活動の場所であり、今後も利用者の増加が見込まれることから、定期的な環境整備が必要である。 このため、作業員の削減につながる乗用草刈機を導入することで、作業員の接触機会を最小化し感染リスクを軽減しつつ、公園等の環境整備を行うことで、地域住民の健康づくりを推進する。 ※他事業の実績により本事業への交付金充当を取りやめ	R3.6.9 ～ R3.8.31	747,670	0	<p>公園等の環境整備を行うため、乗用草刈機1台を購入。 うすば桜公園の整備に使用したほか、産業祭の会場整備にも活用した。 ・乗用草刈機 1台 747,670円</p>		農林水産課																																				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
7	経済活性化対策事業（地域電子通貨めじか事業）	2.雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援等（市民の暮らしの支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により冷え込んでいる地域経済の活性化を図るために、市内限定の電子通貨券を。令和2年度に引き続き全市民を対象に配布することで、市内での飲食や購買など消費喚起を促し、地域経済の活性化を図る。	R3.4.1 ～ R4.3.31	90,424,704	90,228,388	<p>市民生活の応援として電子通貨1回一律5,000円分のポイントを発行。また、個人がチャージして利用できる仕組みとし、チャージに対して5%の上乗せポイント（プレミアムポイント）を支給。</p> <p>【費用内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員人件費 4,692,109円 ・コピー用紙などの消耗品等 需用費 115,870円 ・スマートフォン通信料、通知文書発送料他、役務費 2,556,189円 ・システム使用料 1,122,000円 ・めじかポイント給付費：81,938,536円 一律5,000円支給：59,393,643円（利用率93.43%） プレミアムポイント：22,544,893円 	「Meji-Ca」利用実績は、市から支給した発行額63,566,855円に対し、利用額59,393,643円で利用率は93.43%となり、市内消費を促進することができた。また、「Meji-Ca」にチャージし利用された金額は425,040,434円で、チャージ時に上乗せされる5%のプレミアムポイント利用額も合わせるとトータルで447,585,327円が利用されており、5億円を超える金額が市内で循環され、本市経済の再活性化につながった。	観光商工課
8	事業継続臨時給付金	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出・移動の自粛等により売上が減少した市内事業者（法人・個人）に対して、事業の継続が図れるように臨時給付金を支給する。	R3.4.16 ～ R4.3.3	9,488,000	8,883,000	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、国の「緊急事態宣言」や高知県の対応ステージ「特別警戒」に伴い、外出・移動の自粛等により売上が減少した市内事業者（法人・個人）に対して、事業の継続が図れるよう給付金を支給。</p> <p>【費用内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料（商工会議所に受付業務を委託） 605,000円 ・8,883,000円（76件分） 個人事業者：63件 6,283,000円（上限額10万円/件） 法人：13件 2,600,000円（上限額20万円/件） 	令和2年の年間収入額（各種給付金や協力金含む）が新型コロナの影響で前年より20%以上減少した事業者に対して、法人20万円、個人10万円を上限として給付金を支給し、事業者が事業継続するための支援につながった。	観光商工課
9	土佐清水ジョン万満喫旅行事業（第1弾）	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少している観光業の活性化を図るために、個人宿泊者一人あたり5,000円の電子通貨を配布するほか、団体旅行に対しインセンティブを実施することで、宿泊者増及び観光誘客を促進する。	R3.4.1 ～ R4.3.31	27,769,507	27,769,507	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、売上等に甚大な打撃を被った観光業を対象に、（個人）ジョン万満喫クーポンキャンペーン（第1弾）として、土佐清水市電子通貨Meji-Caカードを活用し、宿泊観光及び市内経済活性化を促す消費喚起キャンペーンを実施した。</p> <p>旅行券事業 5,000円×5,000人分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用期間：令和3年4月15日～令和3年8月31日 ・利用実績：3,755枚 ・割引額：18,464,198円 団体インセンティブ事業：・利用実績：1,409人 事業運営 ・共通費：9,305,309円（クーポン作成・印刷費用、宣伝費用、予約サイト活用手数料等） 	土佐清水ジョン万満喫旅行事業（第1弾）、（第2弾）を実施し、旅行券事業で、6,580枚の利用、団体インセンティブ事業で1,409人の利用があり、宿泊客数では対前年比で、△25,545人とはなったものの、宿泊客数の約1割がこの事業を利用しており、コロナ禍の中でも宿泊客の減少幅を抑えることが出来たとともに、市内経済の活性化に寄与することができた。	観光商工課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
10	足摺テルメ維持管理事業（施設維持費）	3.事業継続等（事業者等への支援）	指定管理者制度により営業を行っていた宿泊・温浴施設について、新型コロナウイルス感染症の影響により指定管理者が撤退し休業となっており、休業中の消防施設、浄化槽の点検・警備保障委託及び温浴設備等の機器の維持管理を行うことで施設維持を図り、円滑な営業再開を目指す。 ※他事業の実績により本事業への交付金充当を取りやめ	R3.4.1 ～ R3.5.31	1,289,457	0	コロナ禍で足摺テルメ指定管理者が令和2年6月末で撤退したことで、休業中となっている施設の維持管理を行った。 【費用内訳】 警備保障委託料 160,600円 維持管理光熱水費・燃料費 739,130円 維持管理通信運搬費 19,437円 保守点検・電気保安管理等 196,490円 設備等リース料 173,800円		観光商工課
11	救急業務感染防止用品等購入	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	消防署員が救援活動を行う際の感染防止対策物品及び救急車内感染防止備品の購入を行う。 ※他事業の実績により本事業への交付金充当を取りやめ	R3.4.28 ～ R4.3.17	755,206	0	・車内滅菌用のオゾン発生器を3台購入し、全車両に配備。 ・傷病者をストレッチャー上で隔離するためのアイソレーターを1器購入しコロナ感染傷病者の搬送用に持ち出せるよう署内に配備。 ・その他、消防職員の感染防止資器材および消毒用品を購入し、コロナウイルス感染防止を行った。		消防本部
12	図書館換気扇設置改修事業	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	市民図書館内の職員及び来館者の感染防止を目的として、感染対策の喚起を徹底するため換気扇設置工事を行う。	R3.10.20 ～ R3.11.24	913,000	913,000	市民図書館内換気扇の整備を実施。 ・1階3台設置 ・2階2台設置 ・既存換気扇の修理	市民図書館は昭和57年開館の古い建築物であり、閲覧室に換気扇が設置されておらず、また事務室や研修室等は換気扇は設置されていたものの故障していた。 今回館内の換気扇整備を行ったことにより、新型コロナウイルス感染症対策として館内全域の換気が可能となり、利用者が安心して施設を利用できるようになった。	生涯学習課
13	移動図書館車購入事業	2.雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援等（市民の暮らしの支援）	3密の回避、外出自粛などで、図書館を利用することが難しい利用者に対し、移動図書館車により各地区へ出向くことにより、利用者が安心して利用できる貸出サービスの提供を図る。 ※他事業の実績により本事業への交付金充当を取りやめ	R3.6.16 ～ R4.3.8	18,394,520	0	移動図書館車1台購入 18,394,520円		生涯学習課
14	実施計画書欠番								

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
15	土佐くろしお鉄道運行支援事業	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動の自粛等の影響により運輸収入が減少し厳しい経営状況となっている土佐くろしお鉄道に対し、列車の安全な運行のために必要な経費の一部について高知県及び沿線7市町村が補助を行う。	R3.4.1 ～ R4.3.24	5,246,251	5,246,251	補助事業概要：軌道整備や除草等の線路保存、駅照明等の電気設備修繕、特急車両の検査及び維持修繕、E V 修繕等 総事業費：101,539,722円 補助対象経費：101,539,722円 本市補助金額：5,246,251円（負担割合5.1667%）	コロナ禍での移動自粛等により厳しい経営状況となっている土佐くろしお鉄道に対して補助を行うことで、沿線住民の移動手段の確保並びに観光客誘致に必要な公共交通機関の維持が図られた。	企画財政課
16	学校保健特別対策事業費補助金	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	学校における感染症対策を強化するため、必要となる保健衛生用品等の購入を行うとともに、学校の教育活動時に際して、教室等の消毒作業を外注するために必要な委託を行い、教職員の負担軽減を図る。	R3.4.1 ～ R4.3.31	5,600,000	2,800,000	新型コロナウイルス感染症感染拡大のリスクを最小限にするため、学校における感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入を行った。また、学校の教育活動時に際して、教室棟の消毒作業を外注するために必要な委託を行い、教職員の負担軽減を図った。 【小学校】 4,800,000円 ●下ノ加江小学校、幡陽小学校、足摺岬小学校、清水小学校、三崎小学校、下川口小学校 ・消耗品費 2,547,150円 ・委託料 2,252,850円 【中学校】 800,000円 ●清水中学校 ・消耗品費 358,476円 ・委託料 441,524円	児童が安心して通学できるよう、各クラスに薬用泡ハンドソープ・消毒液を設置することで、施設の衛生面の強化を行い、子どもが安心して通学できる環境を作ることができた。また、教職員の負担軽減を図り、教育活動の継続をしていくため、感染症対策を徹底する取組として、教室等の消毒作業を日常的に行い、児童・保護者・教職員の不安を取り除き教育活動を継続することができた。	こども未来課
17	介護人材等定着支援事業（事業者支援分）	3.事業継続等（事業者等への支援）	市内の医療・介護・福祉事業所は、新型コロナウイルス感染症の影響により業務量が増大し、現場で対応できる人材の確保が喫緊の課題となっている。人材確保のため現在、新規職員募集を行っており、新規採用者研修等に係る経費について医療・介護・福祉事業所へ支援することで即戦力となる人材確保・定着を図る。	R3.7.1 ～ R4.3.31	2,900,000	2,900,000	市内の介護事業所等へ就職した方に対し、一人当たり就労支援金10万円を交付。 【実績】 就労支援金 100,000円×29人＝2,900,000円 （ケアマネ1人、看護師18人、介護職員10人分）	新型コロナウイルス感染症拡大により一層難しくなっている介護事業所等の人材確保につながったが、市内の介護事業所等の人材不足は依然解消するまでには至っていない状況である。今後も人材確保に向けた取組を継続して行う必要がある。	健康推進課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
18	土佐清水ジョン万満喫旅行事業（第2弾）	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少している観光業の活性化を図るために、個人宿泊者一人あたり5,000円の電子通貨（めじかカード）を配布し、宿泊者増及び観光誘客を促進する。	R3.10.1 ～ R4.3.31	13,841,874	13,841,874	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上等に甚大な打撃を被った観光業を対象に、（個人）ジョン万満喫クーポンキャンペーン（第2弾）として、土佐清水市電子通貨Meji-Caカードを活用し、宿泊観光及び市内経済活性化を促す消費喚起キャンペーンを実施した。 旅行券事業 5,000円×3,000人分 ・利用期間：令和3年10月1日～令和4年2月28日 ・利用実績：2,825枚 ・割引額：13,841,874円	事業No.9のとおり。	観光商工課
19	はた旅クーポンⅡ事業	3.事業継続等（事業者等への支援）	幡多6市町村が連携して行う、「はた旅クーポンⅡ事業」を実施することにより、幡多エリアの観光施設や体験観光施設、飲食店等地域経済の活性化を図る。	R3.10.29 ～ R4.3.31	8,603,000	8,603,000	幡多6市町村内の宿泊施設で「泊まって使える！クーポン付き宿泊プラン」を造成し、宿泊者へクーポン5,000円/泊・人（500円×10枚）を提供するキャンペーンを実施。 ・総事業費：68,446,287円（幡多市町村全体） ・土佐清水市負担額：8,603,000円 ・クーポン券の配布総数：150,000枚 うち、土佐清水市発行分：35,705枚、23.8% ・クーポン券の利用総数：111,753枚 うち、土佐清水市利用分：19,559枚、17.5%	新型コロナウイルス感染症の大流行により、観光業や飲食業などを中心に深刻な影響を受けているため、幡多6市町村が連携して、観光誘客と併せて地域での消費を喚起するキャンペーンを行うことで、経済回復と地域活性化につながった。	観光商工課
20	観光施設等改修事業費補助金（宿泊施設・観光施設）	3.事業継続等（事業者等への支援）	「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開を見据え、市内の宿泊施設にeバイク（電気自転車）を整備し、eバイクで観光地を巡る「新しい旅行スタイル」の環境整備を行う。	R3.12.28 ～ R4.2.14	3,039,000	608,000	足摺岬での滞在時間延長のためのeバイクを購入した。 総事業費：4,012,173円 市補助金：3,039,000円 購入数量：eバイク（27台）、スマホホルダー（27個）、ヘルメット（27個）、ワイヤー錠（27個）	eバイクを購入したことにより、「ウイズコロナ」下での「新しい旅行スタイル」の受入環境を整えることができた。また、（一社）あしずり温泉協議会の参画施設と連携しながら、「eバイク利用付き宿泊商品」の造成にも繋げることで、宿泊者数の増につなげることが可能となった。	観光商工課
21	観光施設等改修事業（市施設） ※交付金【R2国予算実施 地方単独事業分】を充当するため、No22と事業費を按分している。	3.事業継続等（事業者等への支援）	「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開を見据え、市内の屋外観光施設で、3密を避けてマルシェを開催するにあたり必要なテント等の設備を整備する。	R3.12.28 ～ R4.2.7	1,101,293	365,945	3密を避けるための屋外マルシェの備品を購入した。 総事業費：1,308,945円 県補助金：874,000円 購入数量：フォールディングチェア（70脚）、テーブル（20台）、タープテント（10張）	フォールディングチェア、テーブル、タープテントを購入したことで、屋外で3密を避けながらマルシェを開催することが可能となった。また、購入した備品類は観光地に相応しく、かつ若年層や子供連れ家族向けに合わせたデザインとしたことで、併せてマルシェの磨き上げを図ることができた。	観光商工課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
22	観光施設等改修事業（市施設） ※交付金【R3国予算実施 国庫補助事業費 法定率事業分】を充当するため、No21と事業費を按分する。	3.事業継続等（事業者等への支援）	事業No.21のとおり。	R3.12.28 ～ R4.2.7	207,652	69,000	事業No.21のとおり。	事業No.21のとおり。	観光商工課
23	宿泊施設改修事業	3.事業継続等（事業者等への支援）	新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理者が撤退し休業となっていた宿泊施設について、休業の影響により施設・機器の改修が必要となっている。新たな指定管理者が決まり令和3年11月から営業再開となることから、「ウイズコロナ」下での旅行需要に備え、3密対策など新たな生活様式に則した施設の改修工事を行う。	R3.8.4 ～ R3.11.1	25,586,000	24,857,326	「ウイズコロナ」下での旅行需要に備え、市所有の宿泊施設の老朽化した空調設備の取替を実施した。 空調機取替台数：12台	施設内の空調設備の取替を実施したことで、「ウイズコロナ」下での旅行需要に備えることが可能となり、次期指定管理者の新型コロナウイルス感染症対策を強化することができた。	観光商工課
24	疾病予防対策事業費等補助金	4.社会的な環境の整備	予防接種法に基づく定期接種（ロタウイルスワクチン）に係るマイナンバー情報連携体制整備。「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開等に関する事業として行政手続きの電子処理化があり、令和2年10月から定期接種化されたロタウイルスワクチンに係る予防接種情報がマイナンバー情報連携可能となるため、システム改修を行い行政事務のデジタル化を図る。	R3.6.8 ～ R3.6.28	608,300	53,000	ロタウイルスに関する情報を取り扱えるように改修を行った。 【改修内容】 ロタウイルス情報提供機能・特定個人情報連携ツール・情報照会機能の改修 【委託先】 四国情報管理センター株式会社	ロタウイルスワクチンが定期接種化されたことに伴い、市町村間で予防接種記録に関する特定個人情報を迅速かつ正確に授受できるよう、個人の予防接種履歴を確認できる仕組みを構築した。	健康推進課
25	疾病予防対策事業費等補助金	4.社会的な環境の整備	健（検）診結果の利活用に向けた健（検）診結果等の様式の標準化整備事業。「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開等に関する事業として行政手続きの電子処理化があり、健（検）診結果等の情報について、国が定める標準的な様式に対応できるようシステム整備を行うことで、行政事務のデジタル化を図る。	R4.2.1 ～ R4.3.30	627,220	123,000	「健（検）診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業」に関する健（検）診機関からの自治体検診情報を健康ログヘルスシステムに取り込むためのシステム改修を行った。 【改修内容】 新規サブシステムの開発、リリース・XMLデータ変換・データ交換処理 【委託先】 四国情報管理センター株式会社	保健医療情報を本人自身が活用して予防・健康づくり等に活用するとともに、それを本人同意の下に医療・介護現場で役立てることを目指し、健康情報等を活用できるよう整備した。	健康推進課
26	疾病予防対策事業費等補助金	4.社会的な環境の整備	マイナンバーを介した健（検）診情報の提供（自治体が中間サーバーに登録する）に係る、健（検）診情報連携システム整備事業。「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開等に関する事業として行政手続きの電子処理化があり、国がマイナンバー利用を進める中で、市民がマイナンバーを介した健（検）診情報を閲覧できるように必要なシステム改修を行い、行政事務のデジタル化を図る。	R4.2.1 ～ R4.3.30	1,008,480	132,000	「健（検）診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業」に関する自治体検診情報を中間サーバーと情報連携するためのシステム改修 【改修内容】 既存サブシステムの機能・情報提供/情報提供履歴の機能・情報照会機能・特定個人情報連携ツールの追加 【委託先】 四国情報管理センター株式会社	保健医療情報を本人自身が活用して予防・健康づくり等に活用するとともに、それを本人同意の下に医療・介護現場で役立てることを目指し、健康情報等を活用できるよう整備した。	健康推進課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧（令和3年度）

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	(円)		事業実施内容	事業の効果	担当課
					実績額	交付金充当額			
27	保育対策総合支援事業費補助金	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	保育所における感染症対策を強化するため、必要となる保健衛生用品等の購入を行い、安心して登園できる環境を整備する。	R3.4.1 ～ R4.3.30	2,100,000	1,050,000	市内の保育園の実情に応じて感染症対策用品等の整備を行った。 【保育園】5園分 2,100,000円 ●下ノ加江保育園、足摺岬保育園、きらら清水保育園、三崎保育園、下川口保育園 ・消耗品費 2,100,000円 【主な物品購入物】 ・検温消毒スタンド6台 ・サーキュレーター、壁掛け扇風機12台 ・アクリルパーテーション10セット ・非接触おむつペール2台 ・不織布マスク ・消毒液 ・ハンドソープ ・フェイスシールド ・ペーパータオル ・ニトリル手袋 ・ディスペンサー ・除菌器 ほか	集団感染のリスクが高い保育現場で手洗いや消毒による感染防止を徹底するための整備を行ったことで、保護者・児童が安心して登園できる環境づくりに貢献できた。	こども未来課
28	公立学校情報機器整備費補助金	4.社会的な環境の整備	市内小中学校教職員を対象にタブレット及び授業用アプリケーションの使用方法の周知を行うほか、タブレット使用マニュアルの作成を行うことで、教職員のタブレット使用の習熟を図る。	R3.7.1 ～ R4.3.31	792,000	317,000	GIGAスクールサポーター1名が40時間/月で各小中学校へ赴き、タブレットの指導及び、マニュアルの作成を行った。合計就業時間は360時間。 2,000円×360時間×1.1＝792,000円	各教職員が、習熟度に差はあるものの、タブレットを扱えるレベルに達し、積極的に活用できるレベルになった教職員も確認できた。	こども未来課
29	文化芸術振興費補助金	1.感染症対応等（感染拡大の防止）	土佐清水市立市民文化会館が感染拡大予防ガイドラインを踏まえた感染拡大予防対策を実施することで、安心して文化芸術鑑賞ができる環境整備を行う。	R3.4.1 ～ R4.3.31	246,000	100,000	新型コロナウイルス感染症対策のため、スタンド型検温器（消毒液噴射機能付き）を文化会館に設置した。	手動式からスタンド型検温器（消毒液噴射機能付き）を設置することにより、安全かつスピーディーな作業が図られ、市民が安心して様々な文化芸術の鑑賞ができる環境を整備できた。	生涯学習課 （市民文化会館）